

会 社 長
に 聞 く!!
月 曜 新

三井住友ファイナンス&リース社長

今枝 哲郎氏

三井住友ファイナンス
グループ代表執行
役員社長、三井住友銀
行副頭取執行役員を経
て、昨年6月に三井住
友ファイナンス&リー
ス(SMFL)副社長、
今年6月に社長に就い

と努めてきたことが就
任にあたっての良い準
備になった」。

欧阿中東本部長兼欧
州三井住友銀行社長を
務めるなど海外経験が
豊富。地域の特徴に合
わせて事業を考え、進

年間で証券と銀行の現
地法人を一からフラン
クフルトに立ち上げる
というのはチャレンジ
ングだったが、やりが
いのある仕事だった」。

SMFLは三井住友
銀リースと住商リース
に、その中で新たな

金融×事業×DXで社会課題解決

た。「銀行から移って
きて1年間、国内の事
業部門を見ていたが、
より高い目線、広い視
野で会社を理解しよう

めていくことは自分の
視野を広げるといふ意
味で、非常に貴重な経
験だった。ちょうどブ
レグジットの時で、2

が合併して2007年
に発足。2016年に
はGEの日本リース事
業を買収している。様
々なバックグラウンド

ものを作っていること
いう共通の志を持って
いると感じる。月曜会
など色々な会合に出る

見交換ができ、気付き
や発見がある。非常に
心強い仲間であり、新
しい動きを作るにあた
ってのパートナーとし
て期待をしたい」。



はSMFLを『幅広い
金融機能を持つ事業会
社』と断言して、それ

東京大学法学部卒
業。63歳。愛知県出身。
(5面に詳報)

会 新社長 に 聞く!!



三井住友フィナンシャルグループ・三井住友銀行で海外事業等に長く携わり、6月に三井住友ファイナンス&リース(SMFL)社長に就任した今枝哲郎社長に事業環境や今後の展望を聞いた。

——事業環境や今後の方針、展望は。

SMFLは2007年の合併以来、素晴らしい

成長を遂げてきた。その実績と培ってきた事業力という強みをしっかりと認識し、磨いて、この難しい時代を生き抜いていけば、必ず次のステージに行けると確信している。

具体的には航空機リースを中心としたトランスポート・ソリューション部門、不動産部門は成長の可能性が大きい。国内リース事業については人口減で成長が見込めないとも言われるが、DXを掛け合わせることで成長の期待できる。

先日発表した企業のサステナビリティ経営を支援する「Circular Co-Es Union」は、社会価値の創造と経済価値の拡大をオーバラップした事業

業。社会価値×経済価値と言ふテーマには、サーキュラーエコノミーがびつたり当てはまる。またサークキュラーエコノミーやカーボンニュートラルについては様々な企業が注目し、精力的に取り組んでいる。三井グループは非常にコミュニケーションが

ら、皆の力を合わせてこの会社をより良いものにしたい。ステークホルダーに評価される会社にしていくことを成し遂げたい。共感を受けつつリーダーシップは感じてもらえるリーダーを目指す。

——社員にはどのようなメッセージを発信して

ティ」とアイデンティティを挙げた。多様なものに対応するには自分達も多様でなくてはならないが、多様であるとは拡散してしまつたため、多様な人達を束ねるという視点も必要。束ねるキーワードがアイデンティティで、その2つを大切に組

三井住友ファイナンス&リース・今枝新社長

世界は広くて多様で、チャンスがある

これから自分の色を描いていってほしい。

——趣味や座右の銘はありますか。

趣味はゴルフ、読書、ワイン。ゴルフは4人でやるから必ず人との繋がりができるのが良いところ。海外時代は会社の枠を超えた駐在員同士の会があり、そこでの交流はとても楽しく、ためになった。ベストスコアは2009年に出した幻の77で、最近90前後が目

の歴史、アジア各国の歴史など、最近テーマで読むことが多い。ワインは蘊蓄ではなく「飲むリエ」笑。素人なりに飲んでいると違いがわかるようになり、飽きない。

「好きな言葉は「縁(えん)多逢(たふ)聖(せい)因(いん)」。良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展する、良い縁との出会いが良い結果に繋がる要因」という意味。海外を中心に色々なところで色々な人と仕事をしてきて、助けてもらったこと、今までもあったことで、今の自分がある。縁は尋ねるものだし、その人との繋がりを大切にすると、また良いことに繋がっていくという、そういうことを大切にしたい。

(加藤秀景)